

エーシンマリポーサの20

栗 東
入厩予定

全400口

1口32,500円(総額:1,300万円)

父 エイシンヒカリ

牡 芦毛 2020年4月1生まれ コスモビューファーム



エイシンヒカリ

芦毛 2011年

エーシンマリポーサの20

牡 芦毛 2020.4.1

*エーシンマリポーサ

A Shin Mariposa(USA)

栗毛 2004年

ディーブインバクト

鹿毛 2002年

*キャタリナ

Catalina(USA)

芦毛 1994年

ブルピット

Pulpit(USA)

鹿毛 1994年

*エイシンマリアンナ

Eishin Marianna(USA)

黒鹿毛 1996年

*サンデーサイレンス
Sunday Silence

Halo
Wishing Well

*ウインドインハーヘア
Wind In Her Hair

Alzao
Burghclere

ストーム キャット
Storm Cat

Storm Bird
Terlingua

カロライナ サガ
Carolina Saga

Caro
Key to the Saga

エービー インディ
A.P. Indy

Seattle Slew
Weekend Surprise

ブリーチ
Preach

Mr. Prospector
Narrate

ゴーン ウェスト
Gone West

Mr. Prospector
Secrettame

ドラマティック ジョイ
Dramatic Joy

Riverman
Teacher's Joy

Mr. Prospector 4D×4D, Secretariat 5S×5D×5D

母 系

母 *エーシンマリポーサ(04 Pulpit)米国産, 1勝, 岩手(公)1勝。本馬は第8仔。産駒

エーシンショーブク(10 牡 鹿 ブラックタイド)広島(公)1勝, 高知(公)3勝

エイシンホクトセイ(11 牡 鹿 *シンボリクリスエス)北海道(公)2勝, サンライズC 2着, 北海道2歳優駿-JPN3 3着, 南関東(公)1勝, ニューイヤーC 5着, クラウンC 5着, 兵庫(公)9勝, 新春賞 2着, 同 4着, 兵庫大賞典 3着, 同 5着, 六甲盃 3着, 同 4着(2回), 園田チャレンジC 4着, 摂津盃 5着

エイシンエレナ(15 牝 栗 *ハービンジャー)兵庫(公)1勝

ナンバーフォー(17 牝 栗 *エスケンデレヤ)佐賀(公)1勝, ⑧

祖母 ***エイシンマリアンナ**(96 Gone West)米国産, 3勝, シクラメン S-OP。産駒

エーシンイグアス(牡 ダンスインザダーク)東海(公)3勝, 中央障 3勝, 秋陽ジャンプ S, 高知(公)2勝

*サンタマリアガール(牝 High Yield)1勝, 北海道②1勝。産駒

エーシンスパイシー(牝 *クロフネ)兵庫(公)14勝, 新春賞

エーシンパナギア(牝 エイシンサンディ)3勝, 佐賀(公)1勝。産駒

ロードエース(牡 *エーシンフォワード)4勝, やまびこ S, 韋駄天 S-OP 3着, ⑧

*エーシンカマンダー(牡 Cat Thief)1勝, 熊本(公)4勝

*エーシンウォーマン(牡 War Chant)1勝

エーシンガレオン(牡 Stephen Got Even)1勝

曾祖母**ドラマティック ジョイ** Dramatic Joy(87 Riverman)北米4勝, Vallejo S-L, Very Subtle Sales S, Moccasin S-L 3着。産駒

ジ エンベロープブリーズ The Envelopeplease:北米2戦。産駒

アエロキャット Aerocat:北米2勝。**イスタンフォード** Istanbul(サンクレメンテ H-G2, アーリントン クラシック S-G3)の母

メアリーズ ジョイ Mary's Joy:北米1勝。産駒

メアリーシー Maryshee:北米5勝。**ハリーヒー** Harryhee(Triniberg S2着)の母



母の父

ブルピット

米国産, 北米4勝, ブルー グラス S-G2(9F)。主な産駒タビット(ウッド メモリアルS-G1)。母の父として *ナダル(アーカンソー ダービー-G1), リアル ソリューション(アーリントン ミリオン-G1), カルロヴィ ヴァリ(アシュランド S-G1), ウォー プリーズ(エル ダービー-G1), サマー ラヴ(垂オークス-G1), オリンピコ(ジュリアンヌ マルティンス大賞典-G1), ミスエルト(ファンタジーS-G3)を出す

CHECK POINT

父エイシンヒカリが世界に最も強い印象を与えたのは、仏イスパーン賞を残り400mから仕掛けて後続に10馬身差をつけて快勝したときでしょう。この強烈なパフォーマンスによりロンジンワールドベストレースホースランキング(2016/6/5)で129ポンドの単独首位になったほどです。父はお尻が小さめでしたが、本馬は母父の影響がお尻も全体の筋肉量も骨格も素晴らしいです。踏み込みも強く、芝の中距離での活躍が期待できると思います。現状、父の産駒は成績が今ひとつですが、大物が出てもおかしくありません。

※胸前を蹴られて腫れていますが、競走能力には影響ありません。

